

ソニーネットワークコミュニケーションズとの IoT 機器連携の開始について
～マルチファンクションライトのスマホアプリで IoT 対応ガス機器の操作が可能に～

2020 年 8 月 7 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：本荘 武宏、以下「大阪ガス」）は、ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社（代表取締役社長：高垣 浩一、以下「ソニーネットワークコミュニケーションズ」）のマルチファンクションライト^{*1}と当社の IoT ガス機器の連携を 8 月 7 日から開始します。これにより、ソニーネットワークコミュニケーションズのマルチファンクションライトのアプリから当社の IoT 対応の家庭用燃料電池エネファーム（以下、「エネファーム」）、家庭用ガス給湯器（以下「給湯器」）のお湯はりや床暖房の操作が可能になります。

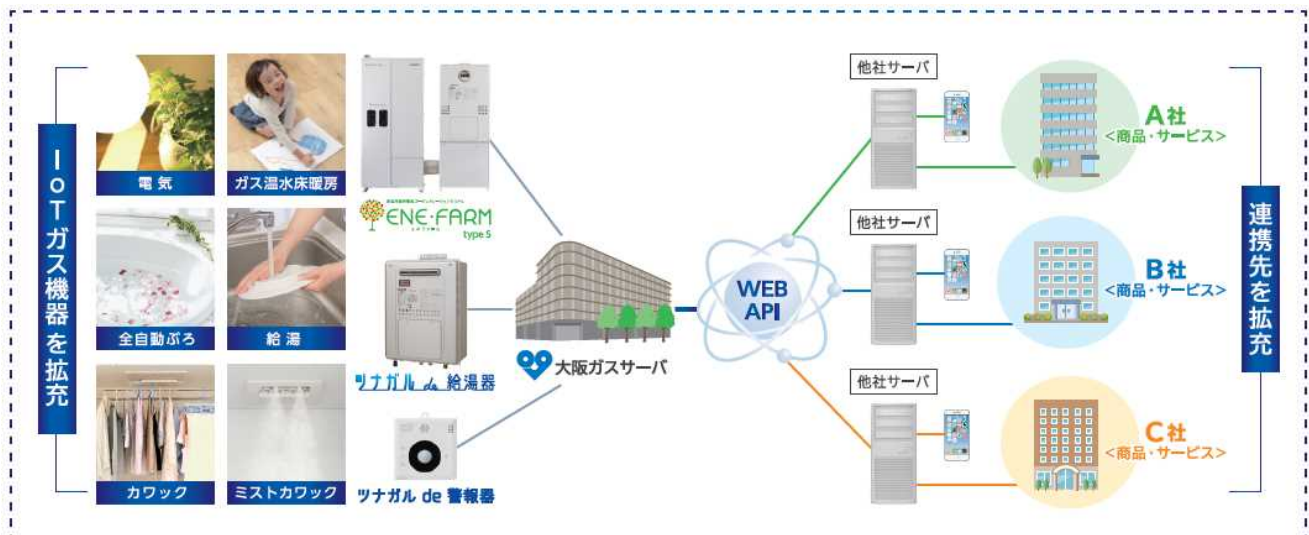


当社は、2016 年 4 月に日本で初めて家庭用ガス機器分野で IoT 技術を導入し、インターネットと常時接続するエネファーム、ガス給湯器などを販売してきました。これまでに 7 万台を超える機器がインターネットに接続しており、専用スマートフォンアプリを使った機器の遠隔操作や、機器の遠隔見守りサービス、エネルギー使用量の見える化等の IoT サービスを提供してきました。さらに、2020 年 8 月 19 日から、家庭用ガス警報器としては日本で初めてインターネット接続機能を搭載したツナガル de 警報器「スマぴこ」^{*2}を販売します。このように、IoT 技術を導入した家庭用ガス機器の拡充を通して、お客さまの快適な暮らしの実現に努めてまいりました。

また、他社の AI スピーカーや、シャープ株式会社（代表取締役社長：野村 勝明）の AIoT プラットフォームとの連携等^{*3}、当社は連携先の拡充にも積極的に取り組んできました。この度のソニーネットワークコミュニケーションズとの機器連携のように、今後も様々なアライアンスパートナーと新しいお客さま価値について検討していきたいと考えています。

当社はこれからも、お客さまがより便利に、より安心して快適にお過ごしいただける商品やサービスの開発に努めることで、お客さまの暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

◆当社の IoT ガス機器を通じたサービスのイメージ



お客さまの暮らしをより「便利」に！「快適」に！

※1 スピーカーや人感センサーを備える多機能シーリングライトです。専用アプリを介して、機器操作、音声再生、見守りを行うことができます。

<https://www.sony.co.jp/Products/multifunctional-light/>

※2 詳しくは 2020 年 7 月 13 日の当社プレスリリースにてご確認ください。

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2020/1288708_43661.html

※3 詳しくは 2020 年 5 月 28 日の当社プレスリリースにてご確認ください。

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2020/1287104_43661.html

以上